

◆中学校新制服 選択制へ、2024年度より導入へ

12月議会

大野城市も「子ども一人ひとりの個性を大事にする」と、24年度よりスカート・スラックス等、制服選択制の導入を示しました。5中学校でブレザータイプの統一の型とし、シャツやリボンの色や形で各校の個性が出されます。松崎ゆり子は2019年6月議会質問はじめ全力で取り組みました。



◆子育て世帯ホームヘルプサービス（2時間週2回18歳まで）新年度より

現在の「赤ちゃんホームヘルプサービス」は生後3か月まで30時間です。松崎ゆり子は22年6月議会で拡充を訴えました。新年度より、妊婦及び18歳未満の児童がいる家庭への、家事育児支援サービスが実現します。2時間週2回（年間約200時間）18歳まで！ヤングケアラーも支援できます。

9月議会 中学校 全員制給食 請願 否決！

9月議会に、「大野城市立中学校における、小学校のような全員制完全給食の実施と、中学校における昼食欠食調査の実施に関する請願」が出されました。請願者は、保護者を中心とする「中学校のより良い給食を考える会@大野城」のみなさんです。

9月26日の本会議では、賛成1、棄権2、反対16で否決されました。松崎ゆり子は、栄養バランスや食育面等から討論を行い（写真右上）、賛成しました。



登校見守り・ごみ拾い
（毎週水曜日）



子どもの居場所・
スペース虹（上大利）
水土日10時～まずは
☎090-7920-7365へ

子どもと保護者の成長と健康のために、中学生にも小学校のような給食が必要です。大野城市の中学生保護者の72%が共働き、9.7%はひとり親です（2018年調査）。厳しい環境で給食だけが頼りの子どももいます。全員制給食は、来年1月からお隣太宰府市も実施予定なので、県内で55（/60）市町村9割が実施です。

給食は、学校給食法実施基準に基づき、ミネラルや食物繊維など成長期に必要な栄養がとれます。平等に、一緒に食べて人とつながり、郷土食や世界の食文化を体験し、農業や社会について学ぶ。本市でも一日も早い実現へ頑張ります。（2022年秋号一部既報）

こども

子どもたちが最優先！

- 子どもの貧困防止、食と教育の支援
- 虐待防止、ヤングケアラー支援
- 不登校、多様な学びの場と居場所づくり
- インクルーシブ教育・通級教室の充実
- 子育て支援充実と子どもの権利条例制定

いのち

安心の福祉と共生！

- 高齢者の外出支援と、介護福祉の充実
- まどか号やオンデマンド公共交通の充実
- コロナ禍、いのちと暮らしを守る支援
- ひとり親家庭や若者の生活・就労支援
- バリアフリーの街づくり

松崎ゆり子とつくる！
だれ一人とり残さない大野城

ともに

ジェンダー平等でみんな幸せ！

- 性的マイノリティ、多様性を認め合う社会へ
- パワハラ、セクハラ、DV、性暴力の防止
- 人間的労働へ！保育士・介護士等の待遇改善
- 公契約条例の制定で、働く人の生活向上
- 性と生殖の健康と権利、性教育の推進

きぼう

自然と平和があつてこそ！

- STOP 気候変動！ 脱炭素、脱原発・核
- オーガニック給食と有機農業・緑の推進
- 情報公開、市民参加、防災減災の街へ
- SDGs（持続可能な開発目標）の推進
- 憲法を活かし、地方自治とアジア友好

